

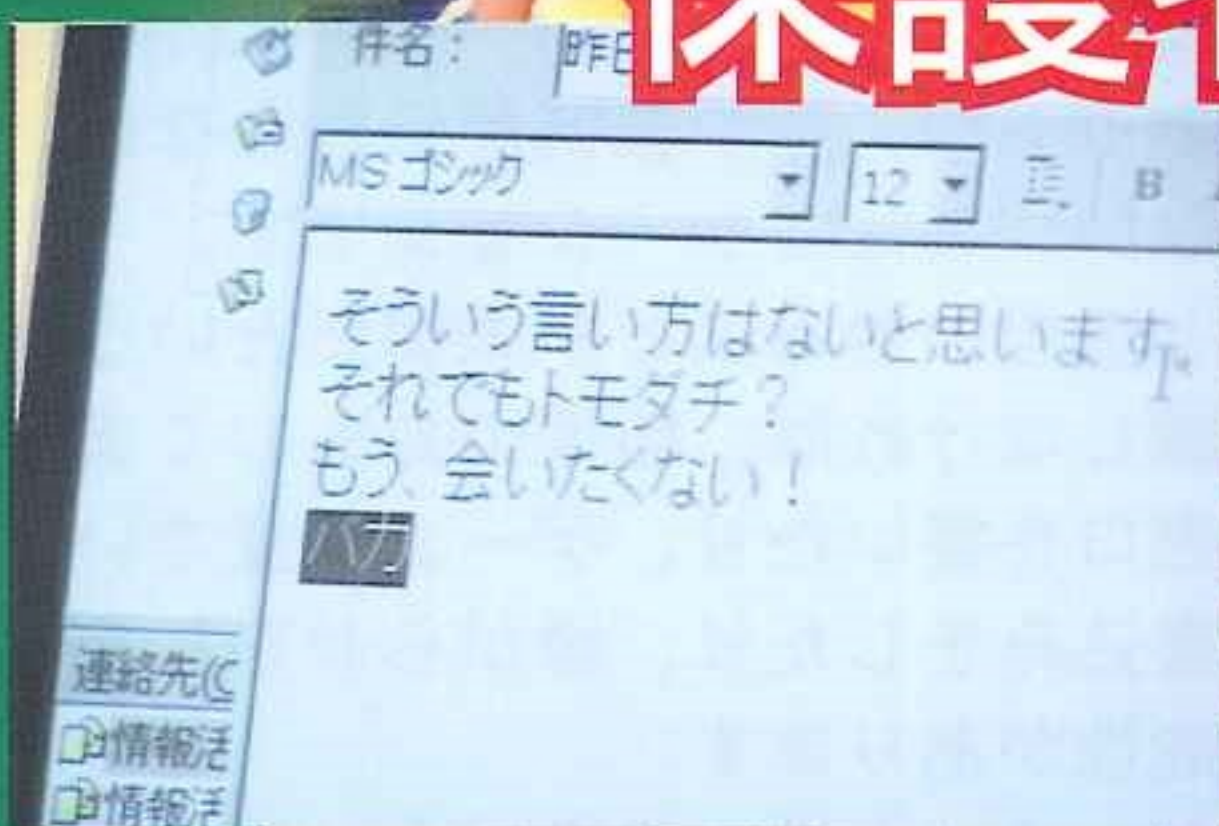
子どもたちをインターネットの悲劇から守るには・・・

# なくそう 子どもの ネット悲劇



保護者・指導者用

生徒用



保護者・指導者用 17分

生徒用 15分

2本組価格

## 制作意図

子どもたちのインターネットの利用率は年々増加しています。特に6才から15才までの年齢の利用率の増加は、インターネットを使える環境や機会が、学校や家庭の中で増えていることを物語っています。しかし、インターネットの中には、有害なサイトや犯罪に利用しようとする悪質な人もいます。では、どのような点に気をつければ、快適で安全なインターネットを楽しめるのでしょうか。具体的な事例あげながら、子どもたちにもわかりやすく解説しています。

## 作品の内容

学校や社会にも守らなければならないルールがあります。

そのルールを破ると、人に迷惑をかけたり、危険な目にあったりします。

同じように、インターネットの世界でも、守らなければならない約束があるのです。

### ■約束1「何にでも答えない」

#### 《個人情報を守る》

子どもには、懸賞やプレゼントなどにつられて、個人情報を勝手に教えないよう指導しましょう。また、そのことで、どのような被害がおこるかを理解させることが大切です。

いったんインターネット上に流れた個人情報は、悪質な名簿業者に転売されることもあります。その結果、見ず知らずの他人から、自宅に電話がかかってきたり、家の前で待ち伏せされたり、子どもの身に危険が及ぶかもしれません。

### ■約束2「簡単に会わない」

#### 《チャット・メールの危険性》

掲示板やチャット、メールなどで知り合った人と直接会わないよう、子どもに指導しましょう。

子どもが同年代のお友達だと思っていても、相手が嘘をついているかもしれません。

会ってもよいと判断した場合は、最初、必ず子どもと一緒にいき、危険のない相手かどうかを確認するようにしてください。インターネットは、便利で楽しい場所ですが、危険な状況を生み出す場所であることを、子どもに認識させましょう。

### ■約束3「ひとりでは決めない」

#### 《ネットショッピングやダウンロードの危険性》

オンラインショッピングの仕組みをよく理解していない子どもが、勝手に商品を注文してしまったり、どうしても欲しくなって親のクレジットカードを勝手に使って買い物をしたりしないよう指導しましょう。

インターネットのゲームの中には、ダウンロードできるものがたくさんあります。

しかし、ゲームや音楽、画像などをダウンロードすると料金がかかることがあります。

子どもがむやみにページ内のリンクをクリックしないよう指導しましょう。

ダウンロードの意味を理解させると同時に、その危険性も説明しましょう。

### ■約束4「相手のことを思いやる」

#### 《顔の見えないコミュニケーション》

インターネットは、声や表情が伝わらない、顔が見えないコミュニケーションです。

相手のことを思いやることが大切だということを知りなければ、感情のおもむくままに人の悪口を書いたり、ゲーム感覚でいい加減な書込みをしたり、嫌がらせをしたりする可能性があります。

今、インターネットは、大人にとっても子どもにとっても、なくてはならないものとなっています。

しかし、判断力が十分ではない子どもが自由に活動するには、まだまだ危険な場所です。それを十分に意識して指導して下さい。生徒用のビデオは、子どもたちに分かりやすく、解説してあります。

発売元

**映** 有限会社 **博映商事**

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 [info@hakuei-shoji.jp](mailto:info@hakuei-shoji.jp)